

保護者の皆様へ、大切なお話です。

3歳以上児の保育について

先にクラス担任をお知らせしましたが、新年度より3歳以上児の保育について、従来の年齢別ではなく3歳以上児が共に生活しながら、一人ひとりの発達や意欲・興味に則して過ごし、また保育者もそのような個性あふれるこども一人ひとりの姿にしっかりと応じていくことのできる総合的な保育（異年齢保育）への取組みを始めることと致しました。

なぜ、今は始めるのか

一昨年度から試験的に、そして昨年度、ゆり・ばらぐみで本格的にこの取組みを始めました。その中で、こどもたちが互いに刺激し合いながら年齢別保育では難しかった多様な友達関係を構築、遊ぶ様子や表情も今まで以上に生き生きしたものとなってきました。私たちも1年間の保育実践によって、これがこどもの豊かな成長・発達のために非常に良いものであることを実際に確認することができました。2010年度の保育を終え次年度保育に関して職員間で協議を進める中で、発達の専門家からも良いとされている3歳児までを含めた異年齢保育を実践しうる環境や体制が整ったとの判断に至りました。

なぜ、すみれ以上なのか

ちゅうりっぷ組までの3歳未満までは、生活習慣や言語の発達に関して大人の個別的な関わりがより重要な時期です。この期間は集団で育つよりはその準備の時期で年齢別クラスが適しています。しかし3歳頃からは、こどもは次第に集団における人間関係や遊びを通して大きく成長していくのです。従っておおむね3歳が一つの区切りです。それを表しているものの一つが、下記に記す保育所設置基準です。

※ 年齢毎の保育者人数に関する国の基準

0歳児	こども3人毎に1人の保育士
1～2歳児	こども6人毎に1人の保育士
3歳児	こども20人毎に1人の保育士
4～5歳児	こども30人毎に1人の保育士

ちなみに、この基準によれば当園の場合、ゆり、ばら、すみれに1人ずつ、計3人の保育士がいれば合格、です。今年度、当園では倍の6人を配置します。

なぜ、異年齢保育なのか

- 1, 同じ年齢でも異なる発達段階のこどもを、一つの枠にはめないで個性を生かすことができる
- 2, 一つの部屋では限界のある、多様な遊びの種類、環境、保育者を用意することができる
- 3, 遊びが豊富に用意できるため、それぞれのこどもの発達に対応することができる
- 4, 異なる年齢・発達の子との触れ合いを通して、こどもたちの心が育つ
- 5, より多くの保育者の多様な目で、お子さんを見守ることができる

この中で特に重要なのは、遊びを通して人間的な成長を遂げる乳幼児期のこどもに、多彩な遊びの選択肢、可能性を提供できることです。こどもがその中から主体的かつ意欲的に遊びを選択・展開し、幼児期に最も大切な『意欲、集中力を育てる』ための経験を重ねることができます。さらにはその一つひ

とつの遊びに保育者の目が行き届き、こどもたちの成長・発達の姿をしっかりと把握、それぞれに適した援助が可能となるのです。

こどもたちの伸び伸びした創作・製作活動を保障します

従来すみれ組が使用していた部屋をアトリエとして、創作・製作専用スペースとします。従来のように創作・製作活動を保育室でする場合、どうしても他の活動、食事や生活のために制限を受けたり、中断して片付けなければならなかったりという制約がありました。なぜならそこは家庭における居室と同じ意味合いの部屋だからです。ここに創作・製作専用の部屋をもうける意義があります。こどもたちは中断や他の活動による制約などを気にすることなく、思い切りまた集中して創作することができます。また製作専用の部屋としての環境や道具の充実を図ることができます。

生き生きした生活の土台である心の安定や安心を大切にします

どんな活動もこどもの心の安定、安心がなければ始まりません。この保育を行なうにあたり、こどもが安心できたり静かに心や身体を休めることができる環境や機会を設けます。例えば仕切られた空間で静かに過ごす図書室もその一つとなりますし、ウッドデッキに畳を敷きごろんと休めるようにしたり、喫茶コーナーでお茶を飲んだり…。落ちついた午睡の環境も整えます。また当面毎日、年齢毎に集まって行なう時間をもうけていきます。

柔軟に進めていきます

形としては新しい取組みとなりますが、これまでも様々な機会を通して一時的なものではありますが全園に亘って異年齢の交流を進めてきました。これを日常的に展開していくにあたっては、ベテランから若手に至る保育者集団によって毎日綿密な話し合いを行ない進めていきます。その際には何よりもこども一人ひとりの様子を見つめ、絶えず反省をしながら、お子さん一人ひとりにとって最も良い形、関わりを検討し、時には後戻りしつつ柔軟に実践していきます。

ご家庭と連携を深め、ご一緒に保育を進めます

今後このことを進めるにあたって、保護者の皆様のご心配をうかがい、ご家庭での様子もお聞きしながら、こどもたちの成長にとって最善の道を見極めて保育にあたっていきます。またすみれ組のお子さんに関しては、当分の間、家庭連絡帳を継続させていただきますので、よろしくお願ひします。

ご質問をお受けし、回答します

みなさまからご質問、また不安なことなどお尋ねをいただき、お答えします。保育の取組み、内容に関してご心配な点などご質問をお持ちの方は別紙用紙をご提出ください。全園児のご家庭に園長からの回答を速やかに作成し、配布させていただきます。もちろん個別に直接お応えすることもできます。大切なお子さんの成長に関わることです。遠慮なくお申し出ください。お待ちしております。

どうぞ当園の取組みは常にこどもの最善の利益を追究する中で進められるもので、保育園の事情や都合を先に置くということは決してないことをご信頼くださいますよう、お願ひ申し上げます。

2011年4月1日

石動青葉保育園
園長 井 幡 清 志

3歳以上児保育に関する質問用紙

4月8日（金）までにご提出ください。

無記名で結構です。個人的に回答を必要とされる方はお名前をお書きください。

氏名（必要に応じて）

いずれかに○印をお付けください。

・個人的に説明を聞きたい

・特に必要ない